

集団に食らいついていく高橋



男子100m(第一位:10秒74)
矢野 永騎(14秒57) **ブルーノ**
男子800m(第一位:1分54秒72)
高橋 宇理弥(2分09秒34) **自己ベスト**
女子100m(第一位:12秒35)
村上 黎央菜(16秒55)
女子やり投第一位:38m93)
浅木 玲音(26m73)

男子100m(第一位:10秒74)
矢野 永騎(14秒57) **ブルーノ**
男子800m(第一位:1分54秒72)
高橋 宇理弥(2分09秒34) **自己ベスト**
女子100m(第一位:12秒35)
村上 黎央菜(16秒55)
女子やり投第一位:38m93)
浅木 玲音(26m73)

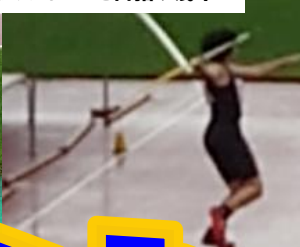
インターハイへの第一関門
第80回愛媛県総合体育大会
6月5〜8日
ニンジニアスタジアム

MATSURO
T&F通信



Vol.177
R8.6.13

理想のフォームを目指す浅木



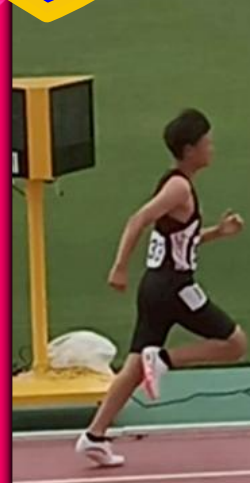
県総体

戦

チームメンバーを応援する村上



日本の高校生の頂点を決めるインターハイ。その第一関門が今年度から県総体となり6月頭に開催された。各校、同一種目には3名までしか出られないというルールの下、63校から992人が集まり競い合った。
本校からは村上、矢野、浅木、高橋が出場。高い県総体の壁を感じる結果となった。特に矢野は陸上の試合も初めてであり、チームの集合、練習、招集、レースの流れに緊張しながらついていった。高校陸上界で勝負していくため、一つ一つ力をつけていく。



緊張しながらレースに向かう矢野